



しつけをしつづける？しつけが不要になるようにしつける？



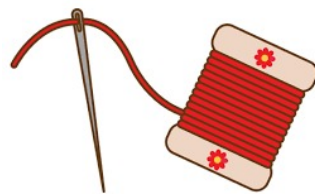
先日、ある校長先生の書いた文章を読んでいたら、次のような一節がありました。“『躰』とは『身』に『美しい』と書きますが、このことは『しつづける』ことをも意味するのです。『しつづける』ことにより身につけていく。これはある意味、教育の基本ではないかと思います。”

家庭でも学校でも「躰(しつけ)」という言葉をしばしば使いますが、今回はこの言葉について考えてみることにします。

「躰」という字は中国から伝えられた漢字ではなく、峠(とうげ)、凧(なぎ)、凧(たこ)、鯉(ひらめ)、鯉(かずのこ)、嘶(はなし)、畑・畠(はたけ)などの漢字同様に日本で作られた漢字です。これを『国字』と呼ぶそうで、「躰」という字も見たまに「身だしなみを美しくする」と解せます。どの漢字もよくできていることに感心してしまいます。

さて、故 岡本夏木氏(元京都大学・京都女子大学教授)の「躰」に関する解釈は、先述のものとはまた違って興味深いものです。“『躰』という字がもたらす意味よりも、『着物の仕付け』を背景とする意味のほうが、子供をしつける過程の本質をよく表しているのではないかと述べたといひます。裁縫でいう『仕付け』とは、着物の形が整うよう、仮縫いしておくものであるのはご存じのとおりです。ただ、ここで大事なことは、着物が縫い上がると、その仕付け糸がはずされるといふことです。つまり、着物が完成すると、もはや仕付け糸の役割は終わって、必要のないものになるわけです。

岡本氏は、“5歳から7歳の子どもたちは、いよいよ仕付け糸をはずしはじめる年齢にあたる”と言います。“それまでは親が外側から枠組みを与えて、子どもに行為や生活習慣をかたちづくらせていたのですが、いよいよその枠をはずして、子どもが自分の力でみずからの行為や生活習慣を生み出しはじめる時期に入っていく”と。仕付け糸をはずすということ



は、子ども本人の自立にゆだねることにほかなりません。もともと自律に向けたしつけなので、から、「しつけが不要になるようにしつける」と言い換えることもできるのではないのでしょうか。

こう考えると、家庭や学校において「しつけ」のもつねらいを再度考えてみる必要がありそうです。一般的に、「しつけ」という言葉を「きちんとさせる」「厳しく身につけさせる」というニュアンスで使いますが、むしろ外的な規制を取りはずして不要なものにしていくことこそ、しつけのねらいであるとも言えそうです。

「しつけとは、やがてそれがはずされるものである」という視点と、時には「しつけをしつづける」という視点の両方のバランスを大切にしながら、家庭と連携して子どもたちの成長に携わっていきたいと思います。



実施時期変更をした行事、あるいはまだ正式には決ま
っていないものもありますが、今日現在での予定をお知
らせいたします。状況によって変わることもありますので
ご了承ください。毎月の学年だよりでもご確認ください
ようお願いします。特に宿泊を伴う行事は、判断の時期
を見定め、協議をしています。

なお、変更が生じた場合は早めにお知らせします。



9 日 (木) 運営委員会
31 日 (金) 給食最終
※ 7 月に避難訓練等を計画中



1 日 (土) 夏季休業開始
※ 5～14 日は学校閉庁日
18 日 (火) 夏休み明け集会
短縮 4 校時～21 日
24 日 (月) 給食開始



9 日 (水) 定例研
11 日 (金) 修学旅行説明会
28 日 (月) 個人面談週間
～10/2 短縮 4 校時



13 日 (火) 短縮 5 校時
15 日 (木) 短縮 5 校時
27 日 (火) 修学旅行～28 日
30 日 (金) 前期終了・通知表



2 日 (月) 休業日
4 日 (水) 後期開始
11 日 (水) 定例研
※ 学習発表の時期・内容を検討中



11 日 (金) 刈払スクール説明会
15 日 (火) 希望面談～18 日
22 日 (火) 給食最終日
25 日 (金) 2 学期終了



5 日 (火) 冬休み明け集会
7 日 (木) 給食開始
12 日 (火) 刈払スクール～14 日
15 日 (金) 5 年 10:30 登校



5 日 (金) 入学説明会
10 日 (水) 定例研
26 日 (金) ありがとう 6 年生集会
6 年授業参観・懇談会



1 日 (月) 1～5 年授業参観・懇談会
18 日 (木) 給食終了
19 日 (金) 卒業証書授与式
25 日 (木) 修了式・離任式

※ ひまわり学級はこの日に参観実施です

《前号の梅雨クイズの答え》

- | | |
|---------------------------|---|
| ① 梅雨は日本だけに現れる現象である | × |
| ② 梅雨の心身不調の解決には、梅がよい | ○ |
| ③ 「日本雨女雨男協会」という団体がある | ○ |
| ④ 「外は雨模様です」は、雨が降っていない空を表す | ○ |

《校章の由来が判明！》

昔、校舎の玄関前に歴史を物語る月桂樹の大木がそ
そり立っていたといい、これを学校の象徴として校章に取り
入れたと、地域の方から教えていただきました。
そういえば、校歌にも月桂樹は登場しています。

26 日 (金) の懇談会への出席をお待ちし
ております。それぞれの学年の昇降口か
らお入りいただく際、職員による
検温を実施しますので、ご理解と
ご協力をお願いします。

